

日ス振支企第12号  
令和3年4月21日

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会会長 殿

独立行政法人日本スポーツ振興センター  
理事長 芦立 訓

### 令和3年度スポーツ振興くじ助成金交付決定通知書

令和3年度スポーツ振興くじ助成金について、独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金交付要綱（平成15年度要綱第18号。以下「交付要綱」という。）第4条の規定により、下記のとおり交付することに決定しましたので通知します。

#### 記

- 1 助成金の額は、17,572,000円とする。  
（助成事業ごとの助成対象経費限度額及び助成金の額については別紙のとおり）  
ただし、助成金の確定額は、交付要綱第13条に基づく審査等を行った上、交付すべき助成金の額を確定するものとする。  
なお、助成事業の内容の変更により、助成事業に要する経費及び助成対象経費が変更された場合については、別に通知するところによるものとする。
- 2 助成事業者は、交付要綱及び関係規程の定めるところに従わなければならない。
- 3 助成金の支出等に当たっては、公正かつ効率的執行に努めること。

#### 【本件連絡先】

独立行政法人日本スポーツ振興センター  
スポーツ振興事業部支援企画課  
企画・総括係 担当：西・貞野  
〒107-0061 東京都港区北青山2-8-35  
Tel：03-5410-9180 Fax：03-5411-3477  
E-mail：kuji-josei@jpnnsport.go.jp

## 交 付 決 定 額 内 訳 表

(単位：円)

附録X0

助成区分 事業細目名 事業名	助成対象 経費限度額	交付決定額	
将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成 タレント発掘・一貫指導育成 世界選抜育成キャンプ (IB・FF)	20,000,000	16,000,000	80%
スポーツ団体スポーツ活動助成 スポーツ指導者の養成・活用 (スポーツ) アメリカンフットボールアカデミー	951,000	608,000	(80%×80%) 64%
スポーツ団体スポーツ活動助成 ドーピング検査 ドーピング検査	72,000	64,000	90%
スポーツ団体スポーツ活動助成 スポーツ団体ガバナンス強化 フェアプレイ推進事業	1,200,000	900,000	75%
合計	22,223,000	17,572,000	

## 事業計画書

【将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成】

助成事業細目	タレント発掘・一貫指導育成事業		
助成対象者名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会		
事業名	世界選抜育成キャンプ(IB・FF)		
優先順位／申請件数	1 位／ 1 件中 (将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成における順位を記入)		
事業実施期間	IB:トライアウト7月23.26日・11月27.28日、IB渡航令和4年2月10日～2月17日 FF:U17日本選抜練習 令和4年1月22-23日・2月19-20日・3月19-20日、U17日本選抜カンクンボウル渡航 3月23-29日。		
目的及び期待される効果	<p>本事業は、国際競技力の向上を目的とする競技者育成プログラムにおいて重要な位置を占める事業である。国際競技力を向上させるためには、アメリカ選手と対等に戦うための筋力、スピードを身に付けることが重要であり、そのためには若いうちからアメリカ選手との対戦を経験させることは非常に有益である。そこで、将来有望と思われる選手を「国内トライアウト」にて発掘し、毎年1月にアメリカ合衆国テキサス州で開催される「IB(インターナショナルボウル)」に派遣し、アメリカチームと対戦させることによって国際競技力の向上を図る。</p> <p>FF(フラッグフットボール)においても、2028ロス五輪での追加種目採用を睨み、若年層を海外大会へ継続的に派遣し「世界レベルを肌で知る」メンバーを増やしていくことが肝要である。またFFの直近の世界選手権およびワールドゲームズに備えて、積極的に他種目からのトライアウトを受け入れ底辺を拡大し、より強い日本代表を編成し2028ロス五輪への派遣を目指す。</p> <p>FFはコンタクトが無いため、男女が同じルールで、同じフィールドでプレイできる数少ない種目であり、同様の理由から幅広い年代で楽しむことが出来る。アメリカンフットボール(タックルフットボール)の持つ競技性、戦略性をそのまま維持できる内容であることも、世界各国で急速に人口が増えていく要因となっている。</p>		
前年度実績及び当該年度見込(目標)		令和2年度実績(見込含む) ※実施団体のみ記載	令和3年度見込
	延べ参加人数	0 人	1,000 人
	活動日数	0 日	25 日
	各年代の代表選手輩出数	0 人	40 人
具体的な事業の内容	事業の詳細	<p>IB: 第一段階として、将来有望と思われる選手を「国内トライアウト」によって選抜し、第二段階として、国内トライアウトで選抜された選手を、「IB」に派遣して国際競技力の向上を目指すものである。「IB」は、ユース・ジュニア層のフットボールを統括する団体(USA Football)とIFAFの共同事業として実施されるもので、世界各国から選抜された19歳未満の選手(U-19)がアメリカの熟練コーチの指導を受け、チームを編成してアメリカチームと対戦するものである。</p> <p>FF: 将来有望と思われる17歳以下の選手を「国内トライアウト」「代表候補練習」によって選抜しIB同様「カンクン」に派遣して国際競技力の向上を目指す。</p>	
	事業の第三者への委任(委託等)の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		※営利法人等に請け負わせるものは、委任(委託等)該当しません。
事業と「競技者育成プログラム」等との関連	<p>競技者育成プログラム、JAF参照</p> <p>※申請事業の競技者育成プログラム等での位置付けが分かる該当ページのコピーを添付。</p>		
事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開方法	情報の公開方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> HPで公開する <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開する <input type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備する <input checked="" type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示する	
	公表する内容(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開する) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開する) <input checked="" type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開する)	
備考			

スポーツ振興くじ助成金に係る交付決定（内定）額の算定について

助成事業者名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助成区分	スポーツ団体スポーツ活動助成
事業細目名	タレント発掘・一貫指導育成事業
事業名	世界選抜育成キャンプ（IB・FF）

令和3年度スポーツ振興くじ助成事業の審査結果は、以下のとおりです。

詳細については、同封の収支予算書等をご確認ください。

助成対象経費限度額	20,000,000 円
助成対象額	16,000,000 円
評価	A
配分割合	100%
交付決定（内定）額	16,000,000 円

※助成対象額は、助成対象経費限度額に助成割合を乗じて算出しています。ただし、助成事業者の申請内容（助成事業者の自己負担額が千円未満の場合等）によっては、助成割合を乗じた額にならない場合があります。

※評価については、『令和3年度スポーツ振興くじ助成金募集の手引』に記載の、「審査の視点」の各項目を点数化し、スポーツ振興事業助成審査委員会において審議された配分基準に基づく評価及び配分割合（当センターホームページをご参照ください。）により、交付決定（内定）額を算出しています。

評価A：100%

評価B：80%

評価ー：70% 申請1年目において前年度実績が乏しい団体

※個別の評価詳細については、お問い合わせをいただいてもお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

※助成金の確定額（事業終了後）を算出する際には、最終的な助成対象経費限度額に助成割合を乗じた額と、交付決定額のいずれか低い額を確定額とします。再度、上記配分割合を乗じることはありません。

**【注意事項及び審査結果一覧】**

助成事業(決定)者名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助成事業細目	タレント発掘・一貫指導育成
事業名	世界選抜育成キャンプ (IB・FF)

**【事業実施にあたっての注意事項】**

- ※ 交付決定(内定)時に助成対象経費とした経費であっても、実施状況報告及び実績報告の内容を審査した結果、助成対象経費としない場合がありますので、事務処理体制を適切に構築してください。
- ※ 助成事業(決定)者は、金融機関に助成事業(活動)についての専用の口座を設け、助成事業(活動)に係る入出金は全て当該専用口座を活用する必要があります。
- ※ 助成対象経費の支払は、本邦の通貨(円)とし、助成事業専用口座からの、口座間の銀行振込を原則とします。一部の例外を除き、現金により支出する場合は助成対象経費となりませんのでご注意ください。詳細は、「会計処理の手引」11～12ページをご確認ください。

交付申請書の審査結果は以下のとおりですので、ご確認ください。  
 なお、交付決定(内定)金額は交付決定(内定)通知書のとおりです。

項目	内容	審査結果
共通	経費の修正について (諸謝金/その他) (消耗品費/渡航費)	合計金額に誤りがございましたので赤字にて修正しております。 また、積算内訳欄の総計と合計金額欄の金額に誤りがある箇所につきましても、積算内訳欄にその旨追記しております。
諸謝金	全般	諸謝金を対象経費とする場合には、報告時に従事時間確認簿を提出してください。また、各個人が謝金を受領していることが確認できる書類(銀行振込伝票、受領書等)を提出してください。 ※代表者への支払だけでは助成対象経費とできません。 なお、所得税法の規定により、支払に係る金額につき源泉徴収を行うことが義務付けられています。源泉徴収を行う場合は、謝金等の支払金額から源泉徴収額を差し引いた金額を支給する旨を、相手方に通知してください。また、報告時に納付書の写しを提出してください。 源泉徴収に関する取扱いは、所轄の税務署にお問合せください。
諸謝金	従事時間確認簿について	従事時間確認簿の記名押印について。実施責任者が従事者であった場合は、実施責任者に加え、別の方の記名押印が必要になります。
旅費_交通費	全般	実費弁償(実際にかかった経費の支給)が原則となりますので、実績報告時には旅費支給一覧等を提出してください。また、航空費については実績報告時に購入した航空券の搭乗日・経路・価格が分かる書類(eチケット、搭乗証明書、予約確認表等)を提出してください。
旅費_宿泊費	全般	実施状況報告、実績報告時に1泊あたりの宿泊代金がかかるもの(領収書・請求内訳等)及び宿泊者が分かる資料(宿泊明細等)を提出してください。 ※定額支給の場合も宿泊者が分かる資料を提出してください。
滞在費	全般	「20,000円/泊」が助成対象経費限度額となります。 滞在費の基準における宿泊料の上限額に基づき、経費内訳表を修正しております。 なお実施状況報告、実績報告時に1泊あたりの宿泊代金がかかるもの(領収書・請求内訳等)及び宿泊者が分かる資料(宿泊明細等)を提出してください。
借換料	Wifi機器について	【借換料】に該当いたします。経費内訳表を修正いたしました。
印刷製本費	全般	スポーツくじのロゴマークとスポーツ振興くじ助成事業の旨の掲示があるものが助成対象経費となります。 報告時にロゴマークの確認できる資料、また単価・数量など支払金額の内訳がわかる書類(見積書・請求書等)を提出してください。
通信運搬費	全般	目的、荷物の内容・数量等が明確であり、かつ事業の実施に必要なものに限り対象となります。実績報告時に確認をします。

収 支 予 算 書

団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
事 業 細 目 名	タレント発掘・一貫指導育成
事 業 名	世界選抜育成キャンプ (IB・FF)

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	内 容
くじ助成金収入	16,000,000	助成割合：4/5
協賛金収入		
入場料収入		
参加料収入	11,000,000	IB:20万×40名、FF:U17カンクン20万×15名
補助金・委託金等収入		
その他収入		
自己負担金	1,991,758	
合 計	28,991,758	

(支出) (単位：円)

科 目	事業に要する経費	助 成 対 象 経 費			助成対象外経費
		助成対象 経費総額 (A)	左記のうち、助成対象 経費限度額 (B)	限度額との差 (A-B)	
諸 謝 金	868,608	868,608	868,608		
旅 費	1,756,000	1,756,000	1,756,000		
渡 航 費	12,850,000	12,850,000	12,850,000		
滞 在 費	4,422,500	4,400,000	4,400,000		22,500
借 料 及 び 損 料	195,000				195,000
消 耗 品 費	1,816,000				1,816,000
ス ポ ー ツ 用 具 費	29,000				29,000
備 品 費					
印 刷 製 本 費	477,000	477,000	477,000		
通 信 運 搬 費	120,000	120,000	120,000		
委 託 費					
賃 金					
会 議 費					
雑 役 務 費	97,000	97,000	97,000		
補 助 金 ・ 交 付 金					
コ ロ ナ 対 策 経 費					
そ の 他	6,360,650				6,360,650
合 計	28,991,758	20,568,608	20,568,608		8,423,150

C 20,000,000

経費内訳表

団体名:	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
事業題目名:	タレント発掘・一貫指導育成
事業名:	世界選抜育成キャンプ (18・FF)

科目	助成対象経費 (A)		左記のうち、助成対象経費別内訳 (B)		助成対象外経費	
	金額 (円)	積算内訳	金額 (円)	積算内訳	金額	積算内訳
補助金	668,608	IB:謝金 コーチ謝金 (国内練習) 5,568円×13人・4日 コーチ謝金 (海外遠征) 5,568円×8人・8日 IB:ドクター&トレーナー謝金 (海外遠征) 5,568円×2人・8日 FF:謝金 コーチ謝金 (国内練習) 5,568円×1人・4日 コーチ謝金 (国内練習) 5,568円×3人・4日 コーチ謝金 (海外遠征) 5,568円×1人・8日	668,608	IB:謝金 コーチ謝金 (国内練習) 5,568円×13人・4日 コーチ謝金 (海外遠征) 5,568円×8人・8日 IB:ドクター&トレーナー謝金 (海外遠征) 5,568円×2人・8日 FF:謝金 コーチ謝金 (国内練習) 5,568円×1人・4日 コーチ謝金 (国内練習) 5,568円×3人・4日 コーチ謝金 (海外遠征) 5,568円×1人・8日		
旅費	1,756,000	IB:旅費 (国内練習:コーチ関東:関西10:3) 遠距離 (30,000円×26人) 近距離 (2,000円×往復×26人) IB:宿泊 (8,000円/泊×4人・日) FF:旅費 (国内練習, コーチ, 選手) コーチ, 遠距離 (30,000円×4人・日) 選手, 遠距離 (30,000円×16人・日) 選手, 近距離 (2,000円×30人・往復) 選手, 宿泊 (8,000円×15人・日)	1,756,000	IB:旅費 (国内練習:コーチ関東:関西10:3) 遠距離 (30,000円×26人) 近距離 (2,000円×往復×26人) IB:宿泊 (8,000円/泊×4人・日) FF:旅費 (国内練習, コーチ, 選手) コーチ, 遠距離 (30,000円×4人・日) 選手, 遠距離 (30,000円×16人・日) 選手, 近距離 (2,000円×30人・往復) 選手, 宿泊 (8,000円×15人・日)		
渡航費	12,850,000	IB:選手40名, コーチ・ドクター計10名, JAJA役員随員1名 アメリカグラスへの航空運賃等 (2018年度実績車庫) 204,910円×51人 FF:U17カンクン遠征練習 (選手15, 監督1) 選手15名, コーチ1名 渡航費150,000円×16人 ※金額に勘合が生じているが, 当初申請金額の未決済金額を計上 (正) 12,850,410円	12,850,000	IB:選手40名, コーチ・ドクター計10名, JAJA役員随員1名 アメリカグラスへの航空運賃等 (2018年度実績車庫) 204,910円×51人 FF:U17カンクン遠征練習 (選手15, 監督1) 選手15名, コーチ1名 渡航費150,000円×16人 ※金額に勘合が生じているが, 当初申請金額の未決済金額を計上 (正) 12,850,410円		
滞在費	4,400,000	IB:グラスでの宿泊費 (2人部屋食事なし) 選手20,000円×6泊×20部屋 日本人コーチ&ドクター&JAJA 20,000円×6泊×6部屋 USコーチ20,000円×8泊×4部屋 FF:U17カンクン遠征練習 16人×10,000円・5泊	4,400,000	IB:グラスでの宿泊費 (2人部屋食事なし) 選手20,000円×6泊×20部屋 日本人コーチ&ドクター&JAJA 20,000円×6泊×6部屋 USコーチ20,000円×8泊×4部屋 FF:U17カンクン遠征練習 16人×10,000円・5泊	22,500	IB:グラスでの宿泊費 (2人部屋食事なし) 選手125円×6泊×20部屋 日本人コーチ&ドクター&JAJA 125円×6泊×6部屋 USコーチ125円×6泊×4部屋
燃料及び送料					155,000	IB:渡航時のWifi 165,000円 FF:渡航時のWifi 30,000円
消耗品費					1,816,000	IB:ユニホーム等 (2018実績) ユニフォームその他一式:4258×40人×115円/着 チームアパレル (ポロ&フーディ渡航・香後着, コーチ等含む) 8000円×52着 FF:ユニホーム等 ユニホーム10,000円×15着 ポロシャツ4,000円×16着 ※金額に勘合が生じているが, 当初申請金額の未決済金額を計上 (正) 1,816,800円
スポーツ用具費					29,000	FF:ボール 9,500円×3個
備品費						
印刷製本費	477,000	IB:印刷製本 ブレイク (45ページ×7冊+ホチキス2箇所100円) ×1.10 @450円×850部 HUF資料 (15ページ×9冊+ホチキス2箇所20円) ×1.10 @170円×560部	477,000	IB:印刷製本 ブレイク (45ページ×7冊+ホチキス2箇所100円) ×1.10 @450円×850部 HUF資料 (15ページ×9冊+ホチキス2箇所20円) ×1.10 @170円×560部		
通信運搬費	120,000	IB:トライアウト機材運搬 30,000円×4回=120,000円	120,000	IB:トライアウト機材運搬 30,000円×4回=120,000円		
委託費						
賞金						
会議費						
雑務費	97,000	IB:振込手数料 (実額平均) 770円×50回+7,000円 (海外送金2回) FF:振込手数料 770円×50回+7,000円 (海外送金2回)	97,000	IB:振込手数料 (実額平均) 770円×50回+7,000円 (海外送金2回) FF:振込手数料 770円×50回+7,000円 (海外送金2回)		
補助金・交付金						
コロナ対策経費						
その他					6,380,650	IB:遠征中の運営費 (USAフットボール協会へ支払) ミーティングルーム:4650×5日=44250 食料:43000×5日=415,000 USコーチ食料:4420×5日=42520 バス代:20000×5日=412,000 レンタカー:4900 練習施設・トレーナー・用具:43000 試合経費:47000 スクリーン経費:41000 合計:443,670×115円/着 IB:保険 旅行傷害保険 7800円×51人 IB国内トライアウト保険 @400/日×94人×4回 FF:U17遠征練習 運営費 30,000円 バス代 40,000円 IB:保険料 国内練習保険 @400/日×15人×4回 24,000円 旅行傷害 7600円×16人×1被航
合計	20,568,608		20,568,608		8,423,150	

※委託費、補助金については、実額内容に「〇〇委託」などとして、その内訳を記載。

# 事業計画書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目	スポーツ活動推進事業(スポーツ指導者の養成・活用)			
助成対象者名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会			
事業名	アメリカンフットボールアカデミー			
優先順位/申請件数	1 位 / 1 件中 (スポーツ団体スポーツ活動助成における順位を記入)			
目的及び期待される効果	事業の特長	左記に該当する場合には、その理由を記入すること		
	<input type="checkbox"/> 高齢者のスポーツ活動の支援			
	<input type="checkbox"/> 障がい者のスポーツ活動の支援			
	<input checked="" type="checkbox"/> ジュニアの育成・子供の体力向上	ユース、ジュニアから育成することにより、より選手層を厚くすることができる。		
	<input type="checkbox"/> 参加者の健康増進			
	<input type="checkbox"/> 女性のスポーツ参加支援(育児サポート等)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 競技水準の向上	基本技術を中心にアカデミーコーチ(日本代表コーチ又はその候補者)が一貫した指導を行うことで、競技面や安全面での技術が習得され、日本全体としての競技レベルの向上が期待できる。		
<input type="checkbox"/> 地域のスポーツ環境の整備				
事業予算の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 自己財源確保済 <input type="checkbox"/> 自己財源未確保(助成金の交付がないと事業規模が縮小する場合も含む)			
具体的な事業の内容 (種目・期間・場所・対象者等)	〔実施事業の内容〕			
	開催期間・開催日	安全講習会(Heads Up Football)への指導者派遣:6/5、7/4,11,18,25、3/6,12,13,20		
	主催者	益社団法人日本アメリカンフットボール協会		
	共催者	なし		
	主催・共催者において、助成事業者以外の財政負担額			
	開催場所	東京、大阪、名古屋、愛媛、北海道、仙台、福岡、他		
	事業の内容	指導者を派遣する事業		
		■安全講習会(Heads Up Football)への指導者の派遣:安全(頭部頸部外傷)に配慮した競技の普及を目指し正しい技術の取得をフットボール未経験者から指導者まで講義と実技にて指導。また、技術とともに体作り、安全面に着目し、「栄養講座」「トレーニング講座」および「正しい防具フィッティング講座」を1つのプログラムとして指導する。		
	指導者の養成と派遣の両事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している <input checked="" type="checkbox"/> 実施していない ※ 両事業を実施する場合でも、指導者の養成と派遣を一つの事業として申請することはできません。2事業に分けて申請してください。		
	指導者の予定派遣回数	9	回	※左の欄に数値を入力すると、右の欄は自動で割合が計算される。
	スポーツ指導者等の平均派遣人数	2	人	スポーツ指導者等の総派遣人数 18 人
	(うち、女性指導者の平均派遣人数)	0	人	女性指導者割合 0.00 %
	指導者を派遣する団体数(実数)	8	団体	
派遣する指導者が有資格者か	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ		指導者の有する資格名 日本スポーツ協会公認指導者・コーチ1	
申請団体が有する指導者情報を関係団体と共有する仕組みが構築されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 構築されている <input type="checkbox"/> 構築されていない		指導者情報を共有する関係団体名 JAFBIに加盟する団体で主に学生アメリカンフットボール連盟8団体 日本社会人アメリカンフットボール協会	



# 事業計画書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目	スポーツ活動推進事業(スポーツ指導者の養成・活用)		
助成対象者名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会		
事業名	アメリカンフットボールアカデミー		
情報公開	事業の実施計画の公表	事業を広報・PRするための手段 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> HPで参加者・派遣先団体募集を告知する <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で参加者・派遣先団体募集を告知する <input type="checkbox"/> 参加者・派遣先団体募集のチラシを配布する <input checked="" type="checkbox"/> 特定の参加者・団体へ声をかけ、参加を呼びかける
	事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開方法	情報の公開方法 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> HPで公開する <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開する <input checked="" type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備する <input checked="" type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示する
		公表する内容 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開する) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開する) <input checked="" type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開する)
事業実施後に、参加者等に対する満足度調査を行うか	<input checked="" type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない	実施方法	メール等で実施予定参加者へのアンケート調査予定
備考			

※本計画書はA4サイズ2頁で印刷してください。

スポーツ振興くじ助成金に係る交付決定（内定）額の算定について

助成事業者名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助成区分	スポーツ団体スポーツ活動助成
事業細目名	スポーツ活動推進事業
事業名	アメリカンフットボールアカデミー

令和3年度スポーツ振興くじ助成事業の審査結果は、以下のとおりです。

詳細については、同封の収支予算書等をご確認ください。

助成対象経費限度額	951,000 円
助成対象額	760,000 円
評価	B
配分割合	80%
交付決定（内定）額	608,000 円

※助成対象額は、助成対象経費限度額に助成割合を乗じて算出しています。ただし、助成事業者の申請内容（助成事業者の自己負担額が千円未満の場合等）によっては、助成割合を乗じた額にならない場合があります。

※評価については、『令和3年度スポーツ振興くじ助成金募集の手引』に記載の、「審査の視点」の各項目を点数化し、スポーツ振興事業助成審査委員会において審議された配分基準に基づく評価及び配分割合（当センターホームページをご参照ください。）により、交付決定（内定）額を算出しています。

評価A：100%

評価B：80%

評価ー：70% 申請1年目において前年度実績が乏しい団体

※個別の評価詳細については、お問い合わせをいただいてもお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

※助成金の確定額（事業終了後）を算出する際には、最終的な助成対象経費限度額に助成割合を乗じた額と、交付決定額のいずれか低い額を確定額とします。再度、上記配分割合を乗じることはありません。

**【注意事項及び審査結果一覧】**

助成事業（決定）者名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助成事業細目	スポーツ指導者の養成・活用（スポーツ）
事業名	アメリカンフットボールアカデミー

**【事業実施にあたっての注意事項】**

- ※ 交付決定（内定）時に助成対象経費とした経費であっても、実施状況報告及び実績報告の内容を審査した結果、助成対象経費としない場合がありますので、事務処理体制を適切に構築してください。
- ※ 助成事業（決定）者は、金融機関に助成事業（活動）についての専用の口座を設け、助成事業（活動）に係る入出金は全て当該専用口座を活用する必要があります。
- ※ 助成対象経費の支払は、本邦の通貨（円）とし、助成事業専用口座からの、口座間の銀行振込を原則とします。一部の例外を除き、現金により支出する場合は助成対象経費となりませんのでご注意ください。詳細は、「会計処理の手引」11～12ページをご確認ください。
- ※ 当事業の助成対象経費の下限額は、40万円となります。事業を実施した結果、助成対象経費が上記下限額に満たない場合は、助成金の交付を行いませんので、注意してください。

交付申請書の審査結果は以下のとおりですので、ご確認ください。  
 なお、交付決定（内定）金額は交付決定（内定）通知書のとおりです。

項目	内容	審査結果
諸謝金	全般	諸謝金を対象経費とする場合には、報告時に従事時間確認簿を提出してください。また、各個人が謝金を受領していることが確認できる書類（銀行振込伝票、受領書等）を提出してください。 ※代表者への支払だけでは助成対象経費とできません。 なお、所得税法の規定により、支払に係る金額につき源泉徴収を行うことが義務付けられています。源泉徴収を行う場合は、謝金等の支払金額から源泉徴収額を差し引いた金額を支給する旨を、相手方に通知してください。また、報告時に納付書の写しを提出してください。 源泉徴収に関する取扱いは、所轄の税務署にお問合せください。
諸謝金	従事時間確認簿について	従事時間確認簿の記名押印について。実施責任者が従事者であった場合は、実施責任者に加え、別の方の記名押印が必要になります。
旅費_交通費	全般	実費弁償（実際にかかった経費の支給）が原則となりますので、実績報告時には旅費支給一覧等を提出してください。また、航空賃については実績報告時に購入した航空券の搭乗日・経路・価格が分かる書類（eチケット、搭乗証明書、予約確認表等）を提出してください。
旅費_宿泊費	全般	実施状況報告、実績報告時に1泊あたりの宿泊代金がかかるもの（領収書・請求内訳等）及び宿泊者が分かる資料（宿泊明細等）を提出してください。 ※定額支給の場合も宿泊者が分かる資料を提出してください。

収 支 予 算 書

団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
事 業 細 目 名	スポーツ指導者の養成・活用（スポーツ）
事 業 名	アメリカンフットボールアカデミー

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	内 容
くじ助成金収入	608,000	助成割合：4/5
協賛金収入		
入場料収入		
参加料収入	85,000	1,000円×85名
補助金・委託金等収入		
その他収入		
自己負担金	1,640,000	
合 計	2,333,000	

(支出) (単位：円)

科 目	事業に要する経費	助 成 対 象 経 費			助成対象外経費
		助成対象 経費総額 (A)	左記のうち、助成対象 経費限度額 (B)	限度額との差 (A-B)	
諸 謝 金	200,000	200,000	200,000		
旅 費	720,000	720,000	720,000		
渡 航 費					
滞 在 費					
借 料 及 び 損 料					
消 耗 品 費	150,000				150,000
ス ポ ー ツ 用 具 費	297,000				297,000
備 品 費					
印 刷 製 本 費	160,000				160,000
通 信 運 搬 費	135,000				135,000
委 託 費					
賃 金					
会 議 費					
雑 役 務 費	331,000	31,000	31,000		300,000
補 助 金 ・ 交 付 金					
コ ロ ナ 対 策 経 費					
そ の 他	340,000				340,000
合 計	2,333,000	951,000	951,000		1,382,000

C 951,000

経費内訳表

団体名: 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会  
 事業細目名: スポーツ指導者の養成・活用(スポーツ)  
 事業名: アメリカンフットボールアカデミー

科目	助成対象経費				助成対象外経費	
	助成対象経費(A)		左記のうち、助成対象経費限度額(B)		金額	積算内訳
	金額(円)	積算内訳	金額(円)	積算内訳		
諸謝金	200,000	アカデミー:4名/回、9回 5,568円×36(人・回)=200,448円	200,000	アカデミー:4名/回、9回 5,568円×36(人・回)=200,448円		
旅費	720,000	遠距離:2名/回、9回 30,000円(地方移動)×18(人・回)= 540,000円  近距離:2名/回、9回 2,000円(近隣移動)×18(人・日)= 36,000円  宿泊:遠距離者前泊 8,000円×18(人・回)=144,000円	720,000	遠距離:2名/回、9回 30,000円(地方移動)×18(人・回)= 540,000円  近距離:2名/回、9回 2,000円(近隣移動)×18(人・日)= 36,000円  宿泊:遠距離者前泊 8,000円×18(人・回)=144,000円		
渡航費						
滞在費						
借料及び損料						
消耗品費					150,000	スポーツドリンク、テーピング
スポーツ用具費					297,000	スポーツ用具、練習用ボール 13,500円×22個
備品費						
印刷製本費					160,000	HUF資料(15ページ×8円+ホチキス2箇所 20円)×1.10 @160円×1,000部=160,000円
通信運搬費					135,000	機材運搬15,000円×9回=135,000円
委託費						
貸金						
会議費						
雑役務費	31,000	770円(振込手数料)×40回=30,800円	31,000	770円(振込手数料)×40回=30,800円	300,000	アカデミー業務補助
補助金・交付金						
コロナ対策経費						
その他					340,000	400円(保険料)×850(人/日)=340,000円
合計	951,000		951,000		1,382,000	

※委託費、補助金については、実施内容に"〇〇委託"などとして、その内訳を記載。

# 事業計画書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目	ドーピング検査推進事業(ドーピング検査事業) ※競技団体用	
助成対象者名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会	
事業名	ドーピング検査	
目的及び期待される効果	ドーピング検査を実施することで、スポーツの価値、競技の公平性、競技の健康を守ることが出来る。更に競技者がクリーンであることを証明することにより、国内・国外にアピールすることが出来る。	
具体的な事業の内容	<p>[実施事業の内容]</p> <p>○令和3年度アメリカンフットボール検査対象競技会</p> <p>①12月13日(予定) 第76回毎日甲子園ボウル 会場:甲子園球場</p> <p>②12月14日(予定) JAPAN X BOWL 2021 会場:東京ドーム</p> <p>③1月3日(予定) 第75回ライスボウル 会場:東京ドーム</p>	
事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開方法	情報の公開方法 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> HPで公開する <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開する <input checked="" type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備する <input checked="" type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示する
	公表する内容 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開する) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開する) <input checked="" type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開する)
備考		

**【注意事項及び審査結果一覧】**

助成事業(決定)者名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助成事業細目	ドーピング検査
事業名	ドーピング検査

**【事業実施にあたっての注意事項】**

- ※ 交付決定(内定)時に助成対象経費とした経費であっても、実施状況報告及び実績報告の内容を審査した結果、助成対象経費とならない場合がありますので、事務処理体制を適切に構築してください。
- ※ 助成事業(決定)者は、金融機関に助成事業(活動)についての専用の口座を設け、助成事業(活動)に係る入出金は全て当該専用口座を活用する必要があります。
- ※ 助成対象経費の支払は、本邦の通貨(円)とし、助成事業専用口座からの、口座間の銀行振込を原則とします。一部の例外を除き、現金により支出する場合は助成対象経費となりませんのでご注意ください。詳細は、「会計処理の手引11～12ページをご確認ください。

交付申請書の審査結果は以下のとおりですので、ご確認ください。  
 なお、交付決定(内定)金額は交付決定(内定)通知書のとおりです。

項目	内容	審査結果
諸謝金	全般	諸謝金を対象経費とする場合には、報告時に従事時間確認簿を提出してください。また、各個人が謝金を受領していることが確認できる書類(銀行振込伝票、受領書等)を提出してください。 ※代表者への支払だけでは助成対象経費とできません。 なお、所得税法の規定により、支払に係る金額につき源泉徴収を行うことが義務付けられています。源泉徴収を行う場合は、謝金等の支払金額から源泉徴収額を差し引いた金額を支給する旨を、相手方に通知してください。また、報告時に納付書の写しを提出してください。 源泉徴収に関する取扱いは、所轄の税務署にお問合せください。
諸謝金	従事時間確認簿について	従事時間確認簿の記名押印について、実施責任者が従事者であった場合は、実施責任者に加え、別の方の記名押印が必要になります。
旅費_交通費	全般	実費弁償(直接に実際にかかった経費の支給)が原則となりますので、実績報告時には旅費支給一覧を提出してください。
旅費_宿泊費	全般	実施状況報告、実績報告時に1泊あたりの宿泊代金がかかるもの(領収書・請求内訳等)及び宿泊者が分かる資料(宿泊明細等)を提出してください。 ※定額支給の場合も宿泊者が分かる資料を提出してください。

収 支 予 算 書

団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
事 業 細 目 名	ドーピング検査
事 業 名	ドーピング検査

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	内 容
くじ助成金収入	64,000	助成割合：9/10
協賛金収入		
入場料収入		
参加料収入		
補助金・委託金等収入		
その他収入		8
自己負担金	26,000	
合 計	90,000	

(支出) (単位：円)

科 目	事業に要する経費	助 成 対 象 経 費			助成対象外経費
		助成対象 経費総額 (A)	左記のうち、助成対象 経費限度額 (B)	限度額との差 (A - B)	
諸 謝 金	33,000	33,000	30,000	3,000	
旅 費	38,000	38,000	38,000		
渡 航 費					
滞 在 費					
借 料 及 び 損 料					
消 耗 品 費					
ス ポ ー ツ 用 具 費					
備 品 費					
印 刷 製 本 費					
通 信 運 搬 費					
委 託 費					
賃 金					
会 議 費					
雑 役 務 費	19,000	4,000	4,000		15,000
補 助 金 ・ 交 付 金					
コ ロ ナ 対 策 経 費					
そ の 他					
合 計	90,000	75,000	72,000	3,000	15,000

C 72,000



経費内訳表

団体名: 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会  
 事業細目名: ドーピング検査  
 事業名: ドーピング検査

科目	助成対象経費				助成対象外経費	
	助成対象経費(A)		左記のうち、助成対象経費限度額(B)		金額	積算内訳
金額(円)	積算内訳	金額(円)	積算内訳			
諸謝金	33,000	競技団体係員立会い 11,137円×3競技上×1名/競技場 (NF-Rep)  ※金額に租税が生じているが、 当初申請金額のまま合計金額を計上 (注) 33,411円	30,000	競技団体係員立会い 10,000円×3競技上×1名/競技場 (NF-Rep)		
旅費	38,000	競技団体係員立会い 30,000円×1名 宿泊 8,000円×1名 (第75回毎日甲子園ボウル立会い)	38,000	競技団体係員立会い 30,000円×1名 宿泊 8,000円×1名 (第75回毎日甲子園ボウル立会い)		
渡航費						
滞在費						
備料及び損料						
消耗品費						
スポーツ用具費						
備品費						
印刷製本費						
通信運搬費						
委託費						
賃金						
会議費						
雑役務費	4,000	振込手数料 770円×5回 (=4,000)	4,000	振込手数料 770円×5回 (=4,000)	15,000	ドーピング検査キット運搬費 ・第76回毎日甲子園ボウル ・JAPAN X BOWL 2021 ・第75回ライスボウル 5,000円×3競技上×1回/競技場 JADAから検査日の前に送られて来た下記 段ボール3つを自宅から園球場まで車で 運搬 1:検査キット一式 2:水とスポーツドリンク 3:トランシーバー
補助金・交付金						
コロナ対策経費						
その他						
合計	75,000		72,000		15,000	

※委託費、補助金については、実施内容に"〇〇委託"などとして、その内訳を記載。

# 事業計画書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目	組織基盤強化事業(スポーツ団体ガバナンス強化事業)		
助成対象者名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会		
事業名	フェアプレイ推進事業		
目的及び期待される効果	<p>・散見される不祥事に対し厳格かつ公正な対応をすることはもちろんであるが、これらが氷山の一角であるとの認識のもと、暴力・ハラスメントといったスポーツマンシップ、フェアプレイ精神を妨げる要因を排除するとともに、アメリカンフットボールをスポーツマンシップとフェアプレイ精神に満ちた競技スポーツにするための活動を行なう。</p> <p>・日本アメリカンフットボール協会(JAFA)は平成25年度に内部通報規程や倫理懲罰規程を定めるとともに、暴力・ハラスメントの有効な監視体制の整備を進めているところであり、JAFA理事会が中心となって監視体制の整備をさらに進める。</p> <p>・一方で暴力・ハラスメントといったスポーツマンシップ、フェアプレイ精神を妨げる事象が発生しえない風土を醸成する活動が必要である。そのためには、スポーツマンシップとは何か、フェアプレイとは何か、を皆で考え、アメリカンフットボールの活動を通じてスポーツマンシップを身に着け、競技の場においてフェアプレイを実践するには何をすべきか、をアメリカンフットボールの競技に携わるみんなで考える場をJAFAが中心となって作って行くこととしたい。</p>		
前年度実績及び当該年度見込(目標)	令和2年度実績(見込含む) ※実施団体のみ記入	令和3年度見込	
	組織統治に向けた自発的な取組件数 ※コンプライアンス委員会及び内部通報制度の設置など	既設	回
	研修会開催回数	0	回
	研修会参加人数	0	人
	専門家配置人数 ※NFのみ記入	2	人
	NFへの専門家指導・助言回数 ※統括団体のみ記入	1	回
具体的な事業の内容	<p>[ガバナンス強化に関する課題]</p> <p>・フェアプレイの精神、スポーツマンシップに対する認識が甘く適切な指導が不足している。</p>		
	<p>[実施事業の詳細]</p> <p>・内部通報規程にある「協会外の相談窓口」を運用する。外部法律事務所に窓口対応を委託し連絡先をHPで公開する。                  ・「相談窓口」に通報があった場合、内部通報規程に則り、専門家等の適切な対応を行う。                  ・スポーツ庁「ガバナンスコード」に基づき、自己評価を行い、公表する。</p>		
事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開方法	情報の公開方法 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> HPで公開する <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開する <input type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備する <input checked="" type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示する	
	公表する内容 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開する) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開する) <input checked="" type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開する)	
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行うか	<input type="checkbox"/> 行う <input checked="" type="checkbox"/> 行わない	実施方法	
備考			

スポーツ振興くじ助成金に係る交付決定（内定）額の算定について

助成事業者名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助成区分	スポーツ団体スポーツ活動助成
事業細目名	組織基盤強化事業
事業名	フェアプレイ推進事業

令和3年度スポーツ振興くじ助成事業の審査結果は、以下のとおりです。

詳細については、同封の収支予算書等をご確認ください。

助成対象経費限度額	1,200,000 円
助成対象額	900,000 円
評価	A
配分割合	100%
交付決定（内定）額	900,000 円

※助成対象額は、助成対象経費限度額に助成割合を乗じて算出しています。ただし、助成事業者の申請内容（助成事業者の自己負担額が千円未満の場合等）によっては、助成割合を乗じた額にならない場合があります。

※評価については、『令和3年度スポーツ振興くじ助成金募集の手引』に記載の、「審査の視点」の各項目を点数化し、スポーツ振興事業助成審査委員会において審議された配分基準に基づく評価及び配分割合（当センターホームページをご参照ください。）により、交付決定（内定）額を算出しています。

評価A：100%

評価B：80%

評価ー：70% 申請1年目において前年度実績が乏しい団体

※個別の評価詳細については、お問い合わせをいただいてもお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

※助成金の確定額（事業終了後）を算出する際には、最終的な助成対象経費限度額に助成割合を乗じた額と、交付決定額のいずれか低い額を確定額とします。再度、上記配分割合を乗じることはありません。

**【注意事項及び審査結果一覧】**

助成事業(決定)者名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助成事業細目	スポーツ団体ガバナンス強化
事業名	フェアプレイ推進事業

**【事業実施にあたっての注意事項】**

- ※ 交付決定(内定)時に助成対象経費とした経費であっても、実施状況報告及び実績報告の内容を審査した結果、助成対象経費としない場合がありますので、事務処理体制を適切に構築してください。
- ※ 助成事業(決定)者は、金融機関に助成事業(活動)についての専用の口座を設け、助成事業(活動)に係る入出金は全て当該専用口座を活用する必要があります。
- ※ 助成対象経費の支払は、本邦の通貨(円)とし、助成事業専用口座からの、口座間の銀行振込を原則とします。一部の例外を除き、現金により支出する場合は助成対象経費となりませんのでご注意ください。詳細は、「会計処理の手引11～12ページをご確認ください。

交付申請書の審査結果は以下のとおりですので、ご確認ください。  
 なお、交付決定(内定)金額は交付決定(内定)通知書のとおりです。

項目	内容	審査結果
諸謝金	全般	諸謝金を対象経費とする場合には、報告時に従事時間確認簿を提出してください。また、各個人が謝金を受領していることが確認できる書類(銀行振込伝票、受領書等)を提出してください。 ※代表者への支払だけでは助成対象経費とできません。 なお、所得税法の規定により、支払に係る金額につき源泉徴収を行うことが義務付けられています。源泉徴収を行う場合は、謝金等の支払金額から源泉徴収額を差し引いた金額を支給する旨を、相手方に通知してください。また、報告時に納付書の写しを提出してください。 源泉徴収に関する取扱いは、所轄の税務署にお問合せください。
諸謝金	従事時間確認簿について	従事時間確認簿の記名押印について。実施責任者が従事者であった場合は、実施責任者に加え、別の方の記名押印が必要になります。
旅費_交通費	全般	実費弁償(直接に実際にかかった経費の支給)が原則となりますので、実績報告時には旅費支給一覧を提出してください。
旅費_宿泊費	全般	実施状況報告、実績報告時に1泊あたりの宿泊代金がわかるもの(領収書・請求内訳等)及び宿泊者が分かる資料(宿泊明細等)を提出してください。 ※定額支給の場合も宿泊者が分かる資料を提出してください。
印刷製本費	全般	スポーツじのロゴマークとスポーツ振興くじ助成事業の旨の掲示があるものが助成対象経費となります。 報告時にロゴマークの確認できる資料、また単価・数量など支払金額の内訳がわかる書類(見積書・請求書等)を提出してください。
雑役務費	全般	実績報告時において、実施計画に基づく事業で得られた成果物を提出することとなります。 配置された専門家の活動実績が確認できる資料(対応報告書等)及び、本事業によりどのような活動があったか(研修会の回数や内容等)を確認できる資料をご提出ください。また、どのような点が改善され、どんな課題が残ったのかをご報告いただきますので、ご承知おきください。

## 収 支 予 算 書

団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
事 業 細 目 名	スポーツ団体ガバナンス強化
事 業 名	フェアプレイ推進事業

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	内 容
くじ助成金収入	900,000	助成割合：3/4
協賛金収入		
入場料収入		
参加料収入		
補助金・委託金等収入		
その他収入		
自己負担金	2,717,000	
合 計	3,617,000	

(支出) (単位：円)

科 目	事業に要する経費	助 成 対 象 経 費			助成対象外経費
		助成対象 経費総額 (A)	左記のうち、助成対象 経費限度額 (B)	限度額との差 (A - B)	
諸 謝 金	167,000	167,000	155,680	11,320	
旅 費	1,110,000	630,000	630,000		480,000
渡 航 費					
滞 在 費					
借 料 及 び 損 料	160,000	160,000	160,000		
消 耗 品 費					
ス ポ ー ツ 用 具 費					
備 品 費					
印 刷 製 本 費	1,520,000	1,520,000	1,520,000		
通 信 運 搬 費					
委 託 費					
賃 金					
会 議 費					
雑 役 務 費	660,000	660,000	660,000		
補 助 金 ・ 交 付 金					
コ ロ ナ 対 策 経 費					
そ の 他					
合 計	3,617,000	3,137,000	3,125,680	11,320	480,000

C 1,200,000

経費内訳表

団体名: 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会  
 事業細目名: スポーツ団体ガバナンス強化  
 事業名: フェアプレイ推進事業

科目	助成対象経費				助成対象外経費
	助成対象経費 (A)		左記のうち、助成対象経費限度額 (B)		
	金額 (円)	積算内訳	金額 (円)	積算内訳	金額
諸謝金	167,000	(フェアプレイ講習会) @11,137円×1名(講師)×6回=66,822円 @5,568円×1名(運営スタッフ)×6回=33,408円 (内部通報対応面談等) @11,137円×1名(弁護士)×4回=44,548円 @5,568円×1名(講師)×4回=22,272円 ※金額に超過が生じているが、当初申請金額のまま合計金額を計上(正) 167,050円	155,680	(フェアプレイ講習会) @10,000円×1名(講師)×6回=60,000円 @5,568円×1名(運営スタッフ)×6回=33,408円 (内部通報対応面談等) @10,000円×1名(弁護士)×4回=40,000円 @5,568円×1名(講師)×4回=22,272円	
旅費	630,000	(講習会)講師+スタッフ(大阪在住)各区1回 100,000(札幌)+45,000(仙台)+12,000(名古屋)+16,000(金沢)+20,000(広島)+22,000(福岡)=215,000円、×2名=430,000円 (内部通報解決面談) @30,000円(東京-大阪)×4回=120,000円 (講習会)講師+スタッフ=2名 宿泊@8,000円×5区(札幌、仙台、金沢、広島、福岡)=40,000円 40,000×2名=80,000円	630,000	(講習会)講師+スタッフ(大阪在住)各区1回 100,000(札幌)+45,000(仙台)+12,000(名古屋)+16,000(金沢)+20,000(広島)+22,000(福岡)=215,000円、×2名=430,000円 (内部通報解決面談) @30,000円(東京-大阪)×4回=120,000円 (講習会)講師+スタッフ=2名 宿泊@8,000円×5区(札幌、仙台、金沢、広島、福岡)=40,000円 40,000×2名=80,000円	480,000
航空費					
滞在費					
借料及び損料	160,000	(講習会会場貸借料) @20,000円×6回=120,000円 (内部通報解決面談)会場費用 @10,000円×4回=40,000円	160,000	(講習会会場貸借料) @20,000円×6回=120,000円 (内部通報解決面談)会場費用 @10,000円×4回=40,000円	
消耗品費					
スポーツ用具費					
備品費					
印刷製本費	1,520,000	フェアプレイハンドブック作成 内容編集委託 一括 100万円 印刷製本 (A3カラー8ページ×100円+中綴じ150円)×500冊×1.10 ※金額に超過が生じているが、当初申請金額のまま合計金額を計上(正) 1,522,500円	1,520,000	フェアプレイハンドブック作成 内容編集委託 一括 100万円 印刷製本 (A3カラー8ページ×100円+中綴じ150円)×500冊×1.10 ※金額に超過が生じているが、当初申請金額のまま合計金額を計上(正) 1,522,500円	
通信運搬費					
委託費					
賃金					
会議費					
雑役務費	660,000	(内部通報制度 協会外窓口委託費用) 窓口対応契約(法律事務所)@50,000円×12ヶ月×1.10=660,000円	660,000	(内部通報制度 協会外窓口委託費用) 窓口対応契約(法律事務所)@50,000円×12ヶ月=600,000円	
補助金・交付金					
コロナ対策経費					
その他					
合計	3,137,000		3,125,680		480,000

※委託費、補助金については、実施内容に〇〇委託 などとして、その内訳を記載。